

NPO法人秋田水生生物保全協会

Q1. どんな活動をしていますか？

魚類を中心に水環境に生息する両生類や、エビ・カニ類、植物などの保全を目的に県内外の関係者と連絡しながら水生生物の実態調査、希少生物の保全、外来生物の駆除、啓発活動などを行っています。八郎湖やため池、河川におけるゼニタナゴやシナイモツゴなどの保全活動調査や、ウシガエル等外来生物駆除活動などのほか、あきた地魚・旬の魚検定も実施しています。



八郎湖・馬場目川調査



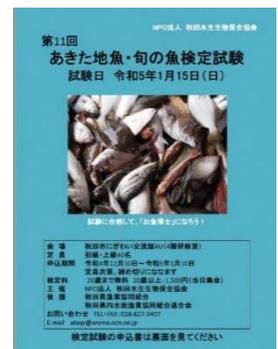
地魚・旬の魚検定試験の様子

Q2. 活動するうえで、どんなことを心がけていますか？

秋田水生生物保全協会では、川や湖沼で実際の調査を行っています。現場に行き、足と手で動き自分の眼で見ただけであれば、今、何が起きているのかを知ることが出来ると思います。その上で、一緒になって考えながら、ともに活動していきたいと思っています。また、ハタハタ、マダイ、ヒラメ、カレイ類、海藻類やイカ・カニなど秋田の豊かな素晴らしい魚についても勉強していきたいと思っています。

Q3. ひとつPRをどうぞ！

メダカやドジョウなど、ほんの少し前まで「普通にいて当たり前」だった生き物が、今では「絶滅のおそれのある」希少種になってしまいました。秋田水生生物保全協会では、地元の方々と一緒にできることを継続して活動していきたいと考えています。興味がある方は、本協会のホームページを見ていただければ、具体的な活動が出ています。ぜひ、一緒に行きたいと思っています。



第11回検定試験ポスター

私たちといっしょに活動しませんか！

杉山 秀樹 理事長からのメッセージ

- ・魚などの水生生物を実際に調べてみよう。
- ・外来生物の駆除活動(守るためには駆除が必要です。)
- ・秋田の地魚・旬の魚が好きな人は勉強するほど美味しくなります。



保全活動をしている
タナゴ類ゼニタナゴ

問合せ先



団体名 NPO法人秋田水生生物保全協会

代表者 理事長 杉山 秀樹

TEL 018-827-3407

メール ataqc@aroma.ocn.jp

H P <http://ataqc.sakura.ne.jp/>

令和5年10月